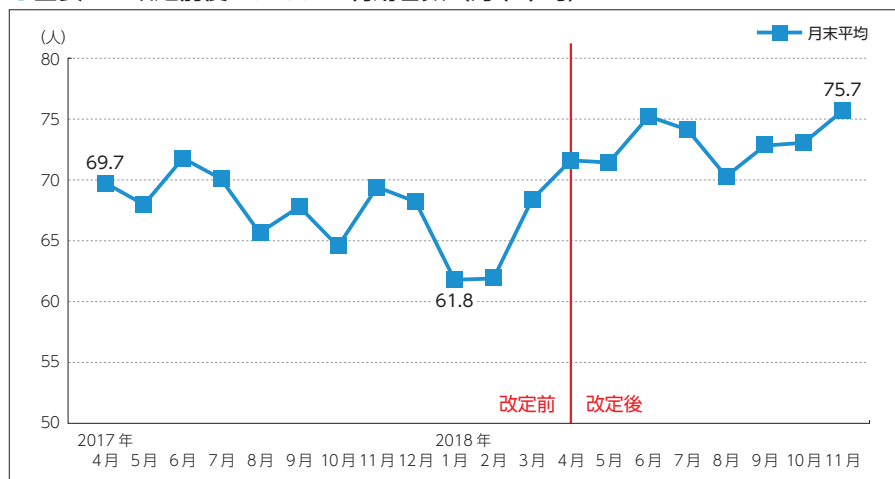


指標については、要件にある10項目をポイント化し、その月の合計が40ポイント以上(図表1)になるように取り組んできました」と話す。

そして、介護報酬改定で新設された加算は目標を決めて、すべて算定していく方針だ。特に今改定では医療機関との連携による取り組みを重点評価する「所定疾患施設療養費(Ⅱ)」や、「再入所時栄養連携加算」などが新設されたことから、病院併設老健の“強み”を發揮し、医療・介護現場とすり合わせをした上で、算定に向けて着手していく。

新築移転に伴い顕著に右肩上がりで伸びているのがデイケアだ(図表4)。ソルヴィラージュのような大規模事業所は、基本サービス費が大きく減額されたものの、「SUN SUN クラブ」という新機軸を展開してきたことなどが奏功し、現在、過去最高の206人というデイケア登録者数を獲得し、基本サービス費での減額分をカバーする高収

●図表4 改定前後のデイケア利用者数(月末平均)



益を維持できている。

### “本物”のレクリエーションを追求する「SUN SUN クラブ」

デイケアなどで実施されるレクリエーションのマンネリ化が指摘されて久しい。施設内の1カ所に集合し、大集団で実施される体操やゲーム、工作・書道・カラオケなど、画一的な内容が多く、施設によっては利用者が退屈し利用を中断するケースが後を絶たないとの話も聞く。

そこで企画されたのが「SUN SUN クラブ」。これは、同じ頌徳会グループの(社福)頌徳福

社の介護老人福祉施設ソルメゾン(入所80人・短期入所20人)と、ソルヴィラージュが3年ほど前に合同企画で立ち上げたシニア向けの本格的なカルチャークラブ。利用者のニーズをヒアリングした上で、①陶芸クラブ、②おしゃれクラブ(クラフト工芸)、③うたのレッスン、④タブレット教室、⑤ソーパークーピング(石鹸を使った彫刻)、⑥バレエストレッチの6つの教室を開設した。いずれの教室も各分野のプロを講師として招聘、10人以下の小グループで専門家がマンツーマンで指



陶芸クラブのスペースと新築移転時に導入した陶芸窯。介護施設での前例がなく、消防署とは多くのやり取りをした。その甲斐あってデイケア利用者の作品は本格的

遊歩道には東屋も。中庭には平行棒や階段等が設置され、屋外リハビリテーションにも利用している